

食物アレルギー負荷テストクリニカルパス

経過	入院・検査日
検査・処置	<ul style="list-style-type: none">・朝食は自宅で食べてから、外来内科受付へ来てください。・医師より負荷物を持ってきていただくように指示があった場合は、忘れずに病院に持ってきてください。・準備ができ次第、医師の観察のもと、負荷食物を少量から摂取していきます。・段階的に摂取量を増やし、目標量を摂取できたら、その後、最低2時間は症状の観察をします。・アレルギー症状出現時は、血圧などの測定を行い、薬の内服や吸入薬、点滴等を使用することがあります。
安静	<ul style="list-style-type: none">・負荷試験中はできるだけベッド上で過ごします。運動によりアレルギー症状が誘発される可能性があります。
食事	<ul style="list-style-type: none">・検査当日は朝食は普通に食べてください。負荷食が食べられるよう量は調節してください。・入院時から水とお茶以外は飲むことができません。検査中は負荷食以外は食べることはできません。・最終摂取から1時間が経過し、医師の許可が出れば、昼食を食べます。ゆっくりお召し上がりください。
清潔	<ul style="list-style-type: none">・自宅での入浴は可能です。
栄養	<ul style="list-style-type: none">・栄養状態の維持、改善を目標に栄養士による栄養管理を行います。
看護	<ul style="list-style-type: none">・副作用による苦痛の軽減に努め、検査が安全に行われるように援助いたします。
退院	<ul style="list-style-type: none">・昼食後問題がなければ、医師の診察の後に退院となります。・負荷試験結果を踏まえて、今後の方針について医師から説明があります。